

トピック ー たまねぎの需給動向 ー

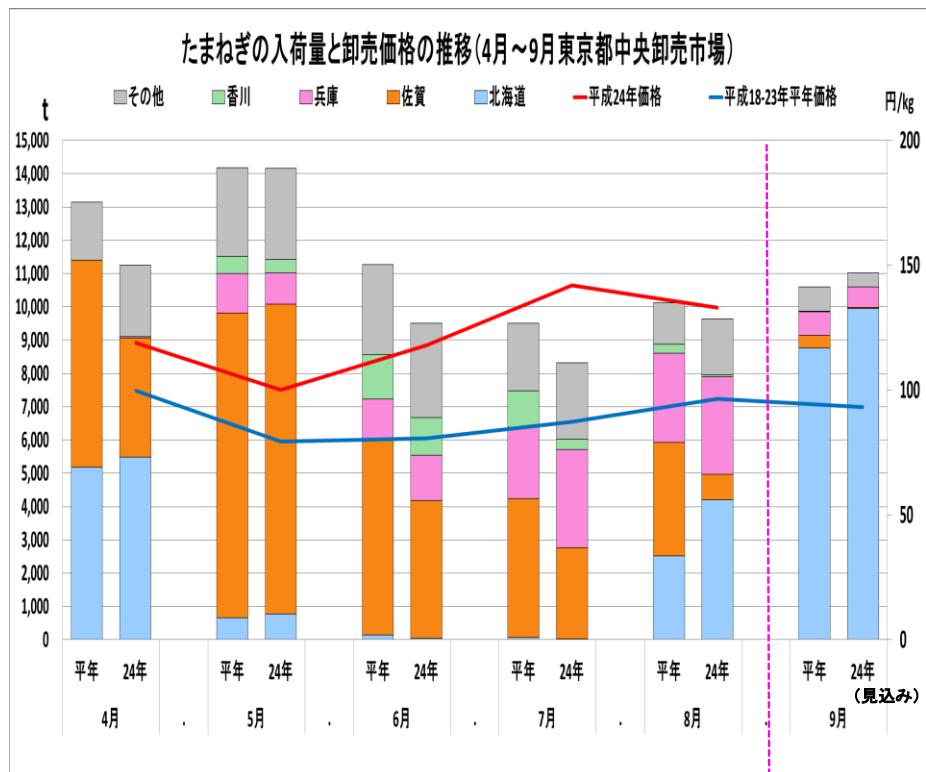
今年の4月以降のたまねぎの価格動向は、平年を大きく上回って推移している。

これは、主産地の佐賀産が、定植時期の降雨等の影響で根の活着が悪かったことから、不作傾向となつたこと等により、入荷量が平年より少なめに推移したことによる。

こうした状況を反映して、たまねぎの輸入は、平成18~23年の平均を大きく上回って推移しており、通常なら輸入量が減少する7月も、高水準を維持している。

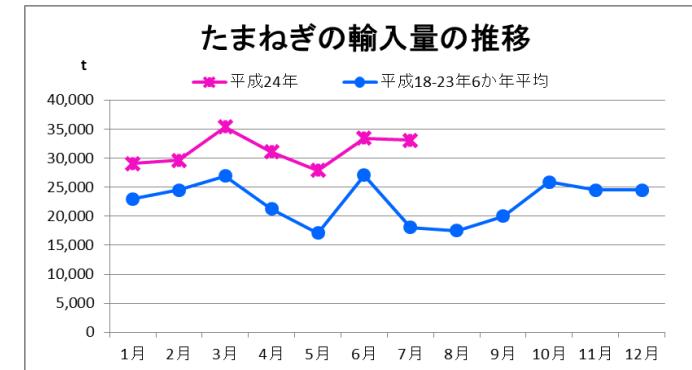
9月以降は、例年、1人当たりの購入数量が増加する中で、供給面では、佐賀産や兵庫産の残量は少ないと見込まれるもの、主産地の北海道産の生育が順調なことから、その出荷が計画どおりに進めば、平年を上回って推移している価格は平年並みに近づくと思われる。

また、高水準で推移している輸入量は、落ちingいてくるものと思われる。

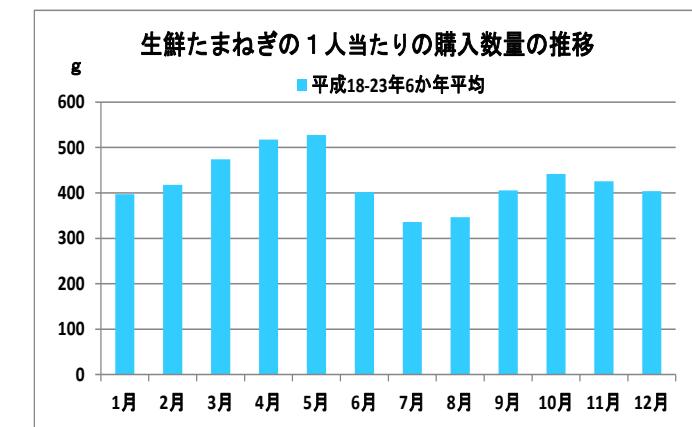


注) 平成24年8月の入荷量と価格は直近までのデータを元に、平成24年9月の入荷量は、主産地への聞き取りを元に、機構が推計した。

資料:青果物情報センター



資料:ベジ探(原資料)財務省「貿易統計」



資料:ベジ探(原資料)総務省「家計調査(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、須藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.htmlに掲載しています。